

令和5年度

令和5年 7月吉日

第63回 東北連合小学校長会研究協議会山形大会 速報

東北連合小学校長会 会長 村上 ゆかり

事務局 山形県連合小学校長会

第63回 東北連合小学校長会研究協議会山形大会、無事閉幕

標記大会が、7月6日（木）、7日（金）にわたり、山形市・やまぎん県民ホールをメイン会場に開催された。

東北各県より、960名を超える会員を迎え、1日目は開会行事と記念講演、2日目は10分科会での研究発表と協議を通して、日々の学校経営に資する多くの学びを得ることができた。「東北は一つ」の思いを大切に、会員相互の結束を強化して大会主題を実現すべく邁進することを誓い、盛会の中、山形大会を終了することができた。

会長挨拶

東北連合小学校長会 会長 村上ゆかり

山形県の花である紅花が、その花の色を黄色から少しずつオレンジ、そして、紅色へと変化する姿は、夏の訪れを告げてくれます。紅花の里 ここ山形の地に、東北各地から会員の皆様をお迎えし、第63回東北連合小学校長会研究協議会を開催できますことに心より感謝申し上げます。本大会の開催にあたり、日頃より温かいご指導とご支援をいただいております山形県、山形県教育委員会、山形市、山形市教育委員会、山形県市町村教育委員会協議会、全国連合小学校長会をはじめ、関係の皆様にご心より御礼申し上げます。



コロナ禍にあった昨年度までの3年間、私たち校長は正解のない課題に日々向き合い、判断を求められてきました。その中で、判断のもとになる確かな情報と、決断を支えるつながりの大切さを実感いたしました。それぞれの学校において、目の前の子どもたちの学びに必要なことは何なのかを改めて問い直し、地域や保護者とともに主体的な学校づくりに取り組む機会となったことと思います。今、コロナへの対応は変わっても消滅したわけではなく、自然災害等の多様な危機への対応や働き方改革の実現など、学校は様々な教育課題に直面しています。中でも、令和の日本型教育の実現等、教育改革を推進するための教員の確保と育成は急務です。私たちはかつて教師の姿に憧れをもち、それぞれが志をもってこの職に就きました。教師としての毎日に不安や苦しさを感じることはありましたが、子どもたちとの日々の生活からそれに勝る喜びや感動を得て、教師という職のやりがいを感じる日々であったと思います。社会が変わっても、教師という職業の魅力を伝えるには、教員一人一人が学び続け、自分らしさを発揮しながら子どもの学びを支えている姿の発信が必要です。そして、校長は、それら教員それぞれの学びに寄り添い、自らも学び、資質・能力を高めて、組織マネジメントの更なる強化を図っていくことが求められていると考えます。

本研究協議会は、これらの背景を踏まえるとともに、昨年の岩手大会の成果を引継ぎ、「人間力に満ちあふれ社会や地域の持続的発展に貢献できる子どもを育てる学校経営の推進」を副主題として位置づけました。本日この後にご講演いただくオリエンタルカーペット株式会社の社長 渡辺 博明氏は、まさしく地域の持続的発展に貢献してくださっている方であり、「山形緞通(だんつう)」という伝統工芸をいまや世界ブランドにまで育て上げ、若手の人材育成にも積極的に取り組まれておられます。これからの社会を担う人づくりについて、私たち校長の学校経営に資する多くのご示唆をいただけるものと思います。また、明日行われる10の分科会では、それぞれがコロナ禍を経て得た校長としての多くの知見のもとに、情報を共有し、活発な意見交流が行われるものと思います。

さらに本大会は、第77回山形県連合小学校長会研究協議会を兼ねており、主担当の山形・上山・東村山を中心に県内11地区の校長が連携し、校長の学びの場としての意義を達成できるように努めると同時に、今後も続く学校の統廃合に係る会員数の減少も視野に入れ、WEBによる参加申し込み方法の導入等、新たな運営方法も取り入れて進めてまいりました。これまでのご協力に感謝し、おもてなしの心をもって2日間の大会運営に精一杯努めますので、ご参会の皆様のご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

東北連合小学校長会は、「東北は一つ」という思いのもと、東北の未来を担う子どもたちが、心身ともにたくましく、人間性豊かに生きることを願い、それぞれの地域に根差した創意と協働による特色ある研究を組織的・実践的に積み重ね、着実にその成果をあげてきました。ここに集った会員が、それぞれの学校経営を振り返ることができるこの機会を大切に、意見交換や活発な議論を通して得られた成果が、東北各県の日々の学校経営に生かされるとともに、今後の教育の在り方について全国へ発信できるよう、実りある研究協議会になることを祈念して、挨拶いたします。

記念講演 「ものづくり、ことづくり そして新型コロナ禍での挑戦」

講師 オリエンタルカーペット株式会社 代表取締役社長
渡辺 博明 氏

「ものづくり、ことづくり そして新型コロナ禍での挑戦」をテーマにご講演いただいた。山形緞通を世界ブランドにまで育て上げたすばらしい経営手腕とともに、会社の創業から現在に至るまでの企業努力や未来に向けた企業戦略等についてもお話くださり、最後まで共感しながら拝聴することができた。「足もとからのおもてなし」「市場があつてこそその『こだわりのものづくり』」「成功はものにあらず人にあり」など、心に残る言葉もたくさんいただき、変革を恐れずに信念をもって進むことの大切さ、現場を巻き込んで人との絆を大事にして事業を進める大切さを改めて心に刻むことができた。また、コロナ禍をもチャンスと捉え、さらに未来に向けて挑戦し続ける姿勢に、企業として、また、組織としての強さと今後の大きな可能性を感じた。

受け継がれてきた不易なことを大切に続け、時流に即した変革を英断、実行し、新たな価値を見いだして挑戦し続ける渡辺氏とオリエンタルカーペット社の姿勢は、学校経営を担う我々校長が目指す姿に通ずるものであった。教育の本質である「人づくり」「人財育成」の実現と、これからのよりよい学校経営の推進に向けて、今回のご講演を生かしていきたい。

多大なご教示と勇気をいただいた貴重な講演をお聴きすることができた。



分科会

3会場

10分科会

本大会の大会趣旨「抜粋：～私たち校長は、時代の潮流を捉える先見性と不易流行を見極める見識をもって、効果的な経営ビジョンを描かなければならない。その上で、創意ある教育課程の編成・実施・評価・改善に取り組むとともに、次代を担う教職員の資質・能力の向上、学校の組織の活性化、施設設備の改善等においてリーダーシップを発揮し、自らの責任と使命を自覚して学校経営に取り組むことが求められている。～」を具現化すべく、もともと根幹となったのが分科会である。基本構想を「各分科会の研究課題・研究の視点に応じた校長会としての組織的・計画的な実践研究発表をもとに、校長としての実践に裏付けられた協議を行う。そして、校長の果たすべき役割と指導の在り方を明らかにし、それらを今後の学校経営に生かすことのできる実りある協議会とする。」とし、これをまさに成し得るために各分科会での話し合いの柱を

(ア) 各内容の推進に係る具体的方策
(イ) 校長の役割 の2点に焦点化し、話し合いが行われた。

2日目、3つの会場、10のテーマに分かれて分科会が行われた。

各地区校長会において、各視点に沿って練りに練られ、そして実践を元に成果、課題、提言等がまとめられた研究は、参加した校長の使命感や向上心、課題解決のためのモチベーションを大いに刺激し、どの分科会でも白熱した議論が交わされた。併せて、各地区の教育を取り巻く環境や実施状況等、幅広く闊達な意見交換や情報共有が成されたことも分科会の大きな成果であった。



【分科会と会場】

第1～第3分科会 ホテルメトロポリタン山形

第4～第8分科会 山形国際ホテル

第9～第10分科会 ホテルキャッスル山形

貴重な発表、丁寧な進行、白熱の協議、誠にありがとうございました。